

大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会(大阪港部会)について

1 背 景

平成 30 年 9 月の台風第 21 号により、大阪湾内の港湾や沿岸部において、港湾施設等に大きな被害が発生したことから、台風第 21 号と同程度の台風を念頭に、人命の確保及び施設の被害軽減、物流・生産機能の維持に関する方策を検討するため、近畿地方整備局が中心となり、学識経験者や専門機関などからなる「大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会」が設置された。

大阪港においても、今回の台風第 21 号により過去最高の潮位を記録し、防潮堤より陸側では高潮による浸水被害がなかったものの、咲洲や夢洲など埋立地の地盤の低いエリアを中心に、高潮や高波等による施設の損壊や事業所の浸水被害が発生した。

2 実施方針

大阪港では、「大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会」における検討結果を踏まえつつ、咲洲や夢洲など埋立地の護岸背後の地盤の低いエリアにおける施設被害や浸水被害について、被害原因を検証し、被害箇所の対策を検討するため、学識経験者や専門機関からなる本部会を開催する。

【検討項目】

- ・平成 30 年台風第 21 号の波浪・浸水再現シミュレーションの実施
- ・被害原因の検証
- ・被害箇所の対策検討

3 大阪港部会の開催(全3回を予定)

第1回(平成 30 年 11 月 21 日)

- ・平成 30 年台風第 21 号の気象・海象の状況
- ・平成 30 年台風第 21 号による大阪港の被害状況
- ・大阪港部会における今後の検討の進め方(検討項目・スケジュール)

第2回(平成 30 年 12 月 27 日)

- ・平成 30 年台風第 21 号の波浪・浸水再現シミュレーションの実施
- ・被害原因の検証

第3回(平成 30 年度内に開催)

- ・被害箇所の対策検討

4 体 制

委員長:青木 伸一 大阪大学大学院 工学研究科 教授

委 員:畠田 栄作 大阪管区气象台 気象防災部 気象防災情報調整官

國田 淳 国土交通省 国土技術政策総合研究所
沿岸海洋・防災研究部長

河合 弘泰 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所 海洋情報・津波研究領域長

平井 洋次 国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部
港湾空港企画官

オブザーバー:阪神国際港湾株式会社
大阪港埠頭株式会社

事務局:大阪市港湾局計画整備部計画課及び海務課

平成30年台風第21号による港湾施設等の主な被害状況

平成30年9月10日時点



(A'ートワーク破損)



(連接板破損)



(階段損傷)



(階段損傷)



(上屋屋根破損)



(岸壁補装陥没)



(護岸上部コンクリートブロック破損)



(トランスレーン破損)



(盛土の法面洗掘)



(道路部へのコンテナ飛散)



(防波堤破損)



(防波堤破損)



(ブロック舗装・階段部破損)



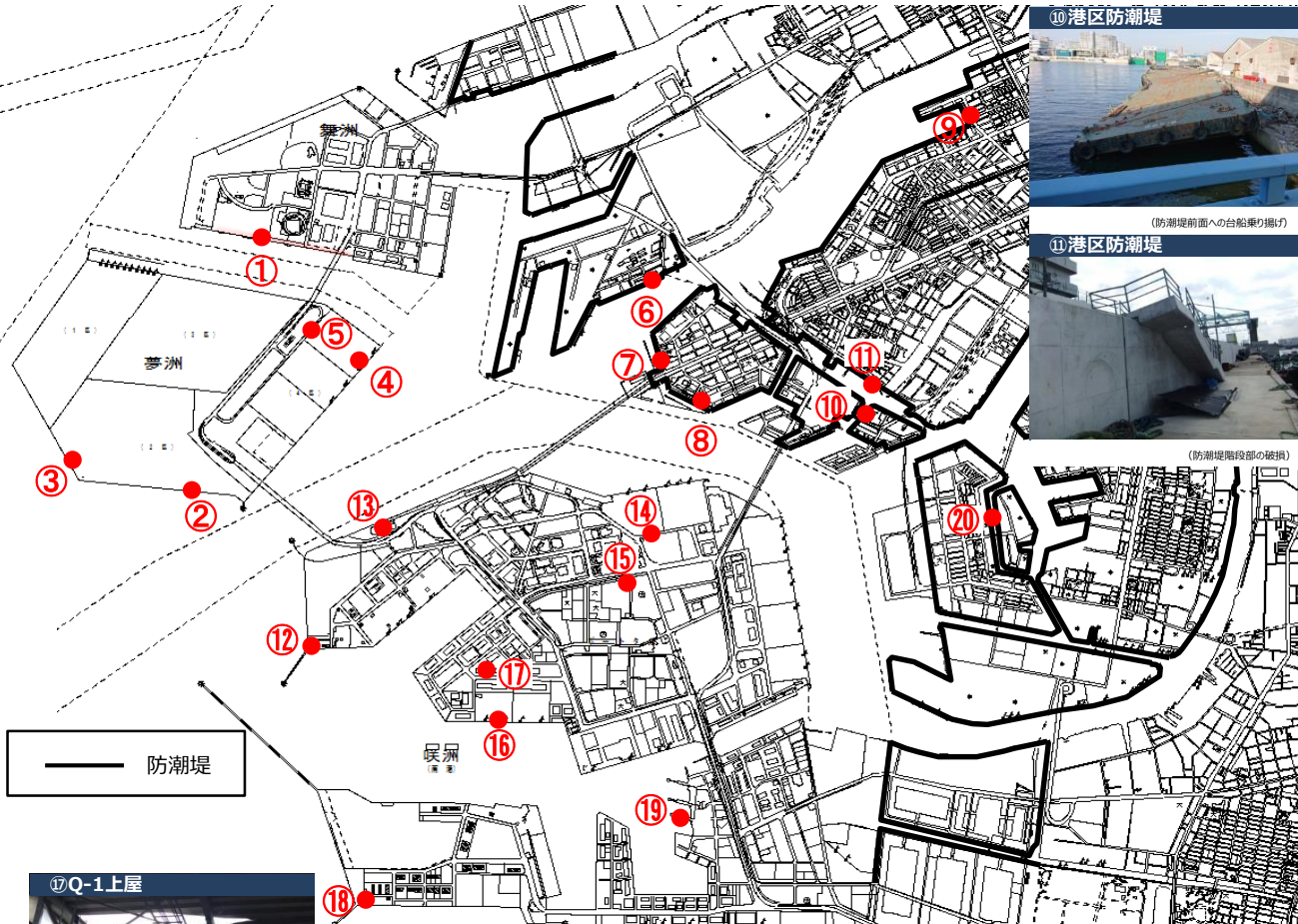
(コンテナ荷崩れによる照明灯破損)



(街路樹倒木)



(コンテナ荷崩れ)



(上屋屋根破損)



(ソーラフェンス破損)



(歩道橋破損)



(防潮堤前面への小型船舶乗り揚げ)



(防潮堤前面への台船乗り揚げ)



(防潮堤階段部の破損)



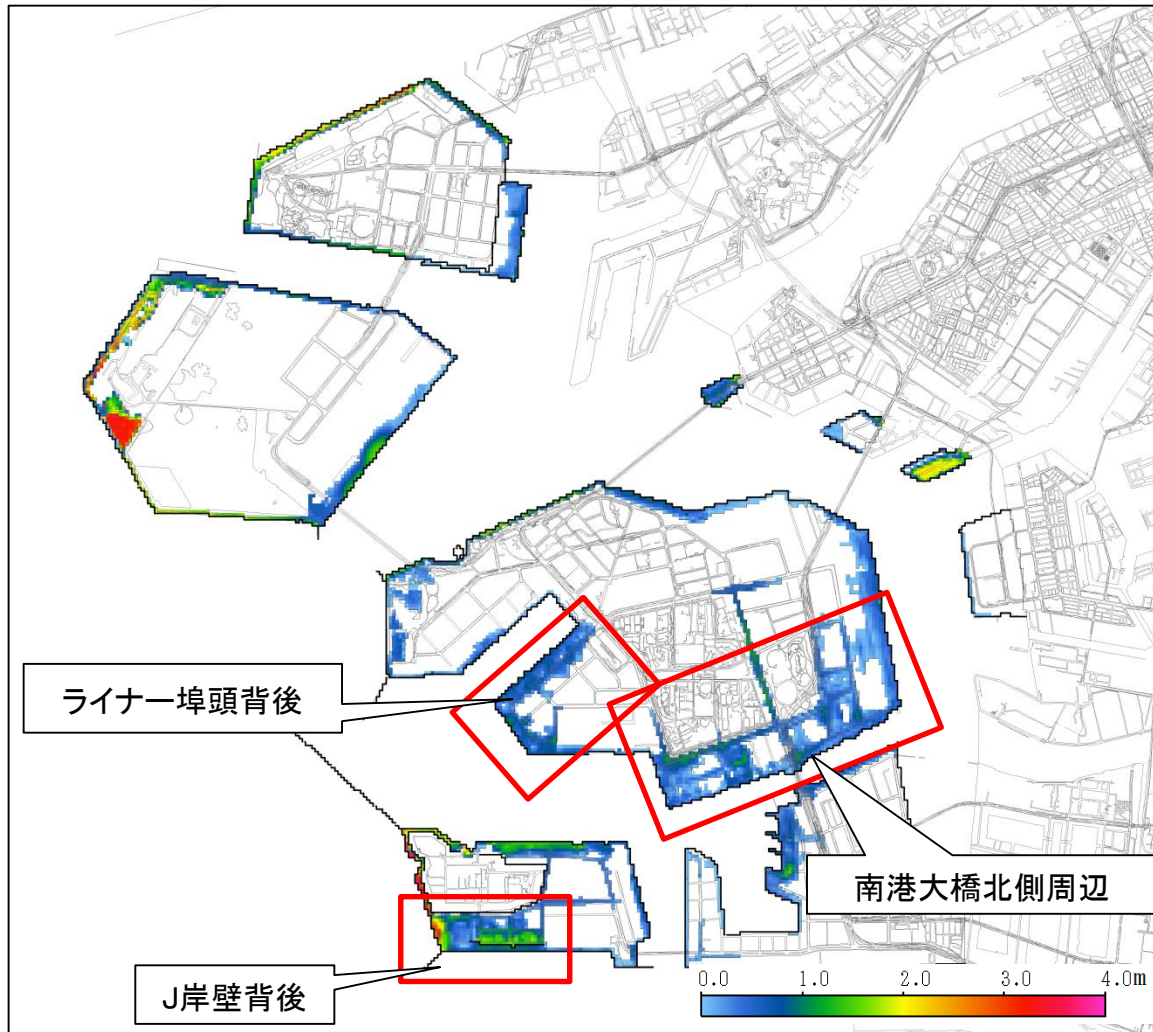
(防潮堤階段部の破損)



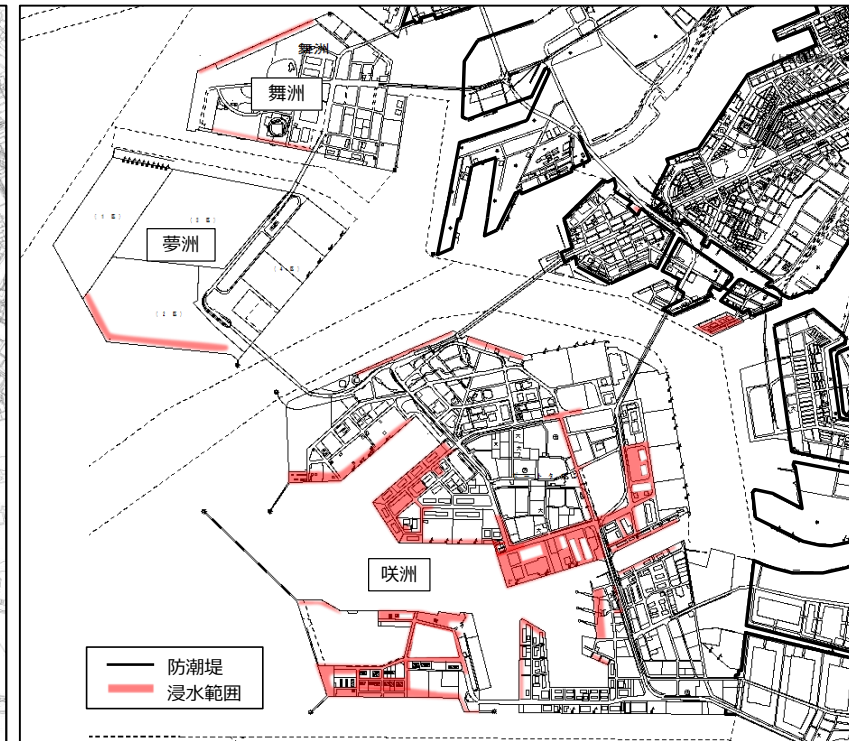
(防潮堤階段部の破損)

平成30年台風第21号による埋立地の浸水状況

埋立地の最大浸水深分布
(浸水再現シミュレーション結果)



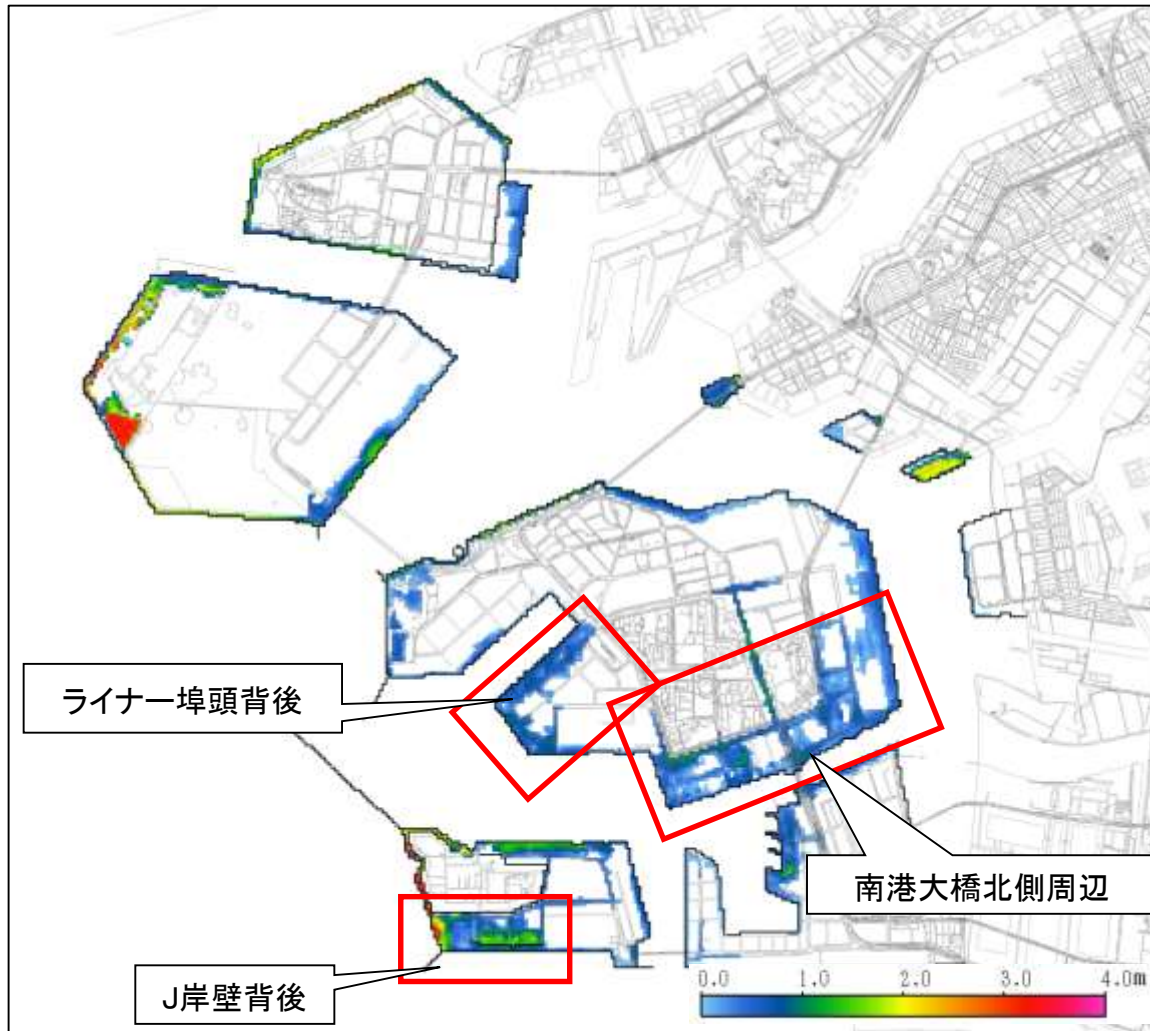
埋立地の浸水状況
(関係者への聞き取り結果等)



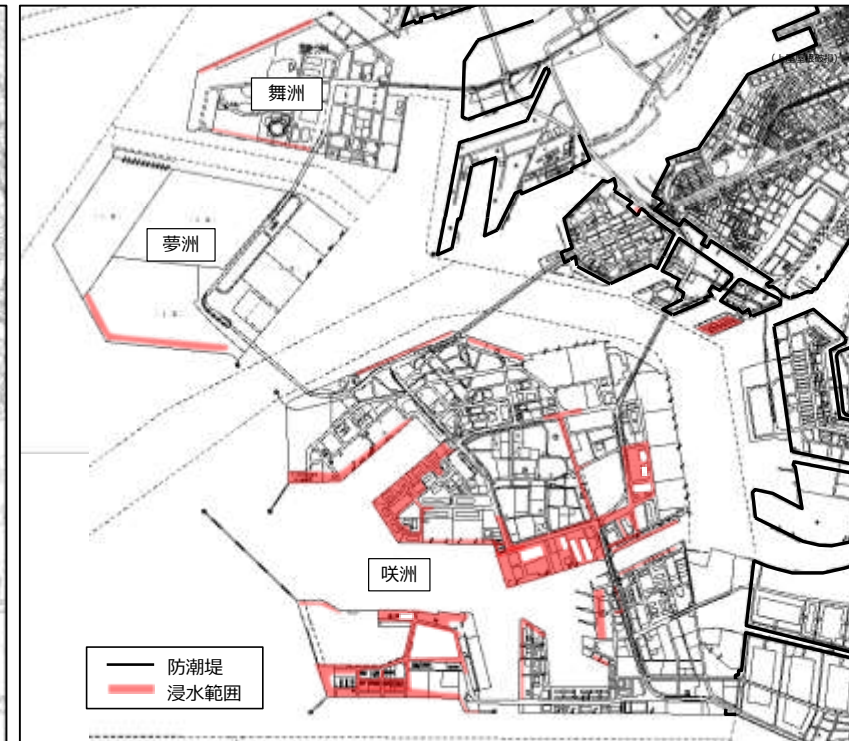
※浸水範囲は台風通過後の現地写真や関係者への聞き取り結果をもとに港湾局で想定したもの

平成30年台風第21号による埋立地の浸水状況

埋立地の最大浸水深分布
(浸水再現シミュレーション結果)



埋立地の浸水状況
(関係者への聞き取り結果等)



※浸水範囲は台風通過後の現地写真や関係者への聞き取り結果をもとに港湾局で想定したもの